
科学探偵・パスカル

シアノ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

科学探偵・パスカル

【Nコード】

N4441L

【作者名】

シアノ

【あらすじ】

ある夜、誰もが不思議がる謎の事件が起きた。その事件の関係者である、佐藤 美穂がある科学探偵パスカルと呼ばれる生徒に事件の話を持ち掛け依頼として相談する。事件と美穂の関係、科学探偵パスカルと呼ばれる生徒とは？そして事件の真相とは・・・パスカルと呼ばれる柳田 光輝が不可思議な事件に挑むミステリーとサイエンスが合わさった推理小説です。

遭遇（前書き）

この小説は実在した人物が行った実験や理論を元にした実験を行っています。もし間違えや気になることがあった場合、気軽に質問してください。お願いします

遭遇

平成22年 5月 9日午後12時45分に突然、大きな銃声が二度鳴り響いた。

体育館には音が良く響く様にする為に反射板が付いている。

理由としては、合唱の時に声が良く響く様にする為らしい。

その為、体育館で起きる音は皆、鏡の様に振源に反射する。

鼓膜が潰れるかと思う程の火薬の破裂音に気付いた人間が駆けつけた時には既に一人の女性が火薬の臭いを残して永久の眠りに就いていた。

この事件はマスメディアにとって最高の餌となった。

その理由としては、その事件には謎が磁力の様に取り巻いているからである。周りの人間は面白がってこの事件を噂にした。自分を除いて……。

この物語の始まりはこの事件の2日後の話になる。つまり、どうゆうことかとゆくと……えーと……

？「どうしたの？零下？」

零「あれ……ここは？」

？「学校だよ。どうしたの？さつきからブツブツ一人言言って」

彼女は友人の秋野 由布奈。小学生の頃からの友達であり、中学も一緒だったけど……

零「い、いや、何でもない、それよりこの高校で頭の切れる人て知らない？」

秋「さあ、私も学校のことは詳しくないからわからないわ。居たら噂で聞くかもしれないけど。そんな人に何か用でもあるの？」

零「ちよつとね、頼み事があるんだ。とても大事なことをね」

秋「何なの？教えて！」

零「い、いや。大したことないから気にしないで。直ぐの頼み事じゃないし！」

秋「そう？悩み事ならドンドン相談してよ！面白そうだから！」

由布奈はいつも一言多くて何でも首を突っ込む癖がある。この癖にいつも悩まされてきた。第一、この悩みを由布奈に相談したとしても解決は出来ないだろう。

秋「あー！思い出した！探偵みたいな人！」

零「本当に？誰なの？」

疑いながらも梨恵に問う。

秋「1ーA組の大野 勉君だったかな？確か部活動は科学実験部だから、放課後は2階の実験室に居るかもよ」

零「科学実験部？聞いた時無いけどそんな部活動あるんだ。じゃあ放課後実験室に行ってみる。先に帰っていいよ。遅くなるかもしれないから」

秋「何言ってるの？もう放課後だよ？美穂の帰る準備を待ってたんだよ。幾らなんでもそれは酷いんじゃない？」

零「御免！ボーツとして忘れてた。じゃあ、又明日ね！」　そう言うとは直ぐに2階の実験室に向かった。1年生の教室は3階だから1階降りて実験室のドアの前に立った。心のなかでは少し緊張したが、中に居るかどうかが分からなかった為、ドアを迷わずに開けた。

零「あれ？居ない・・・」

中には誰もいなかった。あるのは沢山の実験器具や訳のわからないラベルが貼ってある薬品だけだった。明らかにたった今実験を始める状態に見える。

不思議に思いながらも実験室の中を見回してみる。

さつき由布奈が言っていた、確か大野 勉という名前の探偵みたいな人が居るかどうが見渡すが全く見わたらない。出来れば早く相談したい。あの事件を・・・

？「君は・・・？」

美「だ、誰！？」

気付いた時には後ろに白衣を着た恐らく梨恵が言っていた男がこち

らを睨みながら立っていた。これが「アイツ」との出会いだった。
そう、これが・・・・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4441/>

科学探偵・パスカル

2010年10月16日10時33分発行